

薩摩川内市【市政改革大綱】の概要

大綱策定趣旨

①基本的で本質的な市政のあり方と、その取組課題に対する改革の方向性を示す。②合併10年後、20年後も本市が繁栄するために努力を積み重ねていくための市民と共有する指針であり、組織・職員の行動規範とする。③単に人員・組織の削減や行政コストの縮減を第一の目標に掲げた従来型の行政改革ではない「市民志向の行政改革」となるようにその方向性を明確にする。④市が自ら行うべき公的サービスかどうか、より効率的な執行方法とはどのようなものか等を原点に立ち返って検討し、市政運営のあり方と取組課題に対する改革の方向性を示す。⑤総合計画、財政健全化計画と連動し一体となり、本市の都市経営戦略の柱となる。

改革の必要性

- ①まちづくりの主役は市民
- ②協働社会の到来
- ③民間企業の自己革新
- ④国県市町村の財政悪化・地方分権
- ⑤市町村合併

↓
市民志向の行政改革、市政改革に取組み、簡素で効率的・効果的な行政体制を確立する。
【協働社会】
民間（市民やNPO・ボランティア・企業等）と行政が公共活動を共有し、それぞれの役割を果たす社会。公的サービスの提供を民間もできるようになった。

視点

- 都市経営**
- ・市民志向
 - ・スピードの重視
 - ・コスト意識の徹底
 - ・成果の重視
- 市民サービス**
- ・品質の向上
 - ・分権・権限移譲への対応
- 協働・市民参画**
- ・民間活力（民でできることは民で）
 - ・コミュニティ

基本的な取り組み

1. 実効性の高い都市経営の実現
 - 【都市経営への挑戦】
 - (1) 都市“運営”から“経営”への変換
 - (2) 効率的・効果的な組織の実現
 - (3) 持続可能な財政構造の確立
 2. 事務事業見直し【サービス向上への挑戦】
 - (1) 市民ニーズの増大と多様化への対応
 - (2) 市民サービスの質の向上
 3. 民間活力の活用【協働への挑戦】
 - (1) 民間企業・民間資金の活用
 - (2) 市民団体の活用
- 市役所職員の心構え
- ①「市民」は、市役所の「顧客」
 - ②市民に親しまれ、信頼される市役所
 - ③迅速で、丁寧に、わかりやすく対応
 - ④質の高いサービスを提供

目標

- ①市民が主役となった将来都市像の実現
- ②最少の経費で最大の効果を挙げ、市民が求める公共サービスを最良の形で提供
- ③市民志向・成果志向に基づき、迅速性・コスト意識に根ざした都市経営

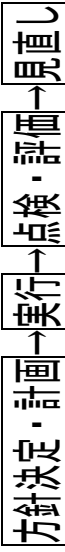
挑戦

改革を進めるための体制と流れ

推進体制

- 【市民等】市民、NPO、ボランティア、地区コミ、企業等
- 【市議会】薩摩川内市行政改革委員会（民間委員）
- 【外部機関】庁議一調整会議一行政改革部会
- 【市役所】庁議一調整会議一行政改革推進課
主管課：企画政策部行政改革推進課
（行政改革・事務管理・合併後調整）

マネジメントの流れ



広聴広報

- ・広報紙・ホームページ
- ・市政モニター
- ・ふれあい市民会議
- ・地区コミュニティ協議会
- ・女性50人委員会
- ・パブリックコメント